

平成26年度第4回中原区区民会議

日時 平成27年3月23日（月）14：00～

場所 中原区役所5階 502・503会議室

1 開催日時 平成27年3月23日(月)午後2時～4時13分

2 開催場所 中原区役所5階 502・503会議室

3 出席者

(委員) 板倉委員長、橋本副委員長、成田副委員長、石川委員、井上委員、梅原委員、尾木委員、梶川委員、園部委員、反町委員、田中委員、塚本委員、長尾委員、仲亀委員、中森委員、仁上委員、萩原委員、松本委員、山崎委員

(参与) 市古参与、潮田参与、大庭参与、東参与、松川参与、松原参与

(事務局) 鈴木区長、小野副区長、今井課長、稲葉部長、大塚所長、蛭名副所長、諏佐室長、鈴木所長、八木課長

企画課：江口係長、倉見係長、大崎職員、野並職員、西山職員

4 議題 (1) 第3回課題調査部会及び第3回運営部会報告(公開)

(2) 審議テーマ「地域コミュニティ、みんなでまちをきれいに」の審議経過について(公開)

(3) 区民会議における次の審議テーマについて(公開)

(4) 第5期中原区区民会議中間報告書について(公開)

(5) 平成27年度地域課題対応事業について(公開)

(6) その他(公開)

5 傍聴者 2名

6 会議内容

午後2時 開 会

1 開会

司会 皆さん、こんにちは。定刻になりましたので、ただいまから第5期第4回中原区区民会議を開催いたします。私は、本日の会議の議事に入るまでの間、進行を務めさせていただきます副区長の小野でございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

本日は過半数の委員に御出席をいただいておりますので、川崎市区民会議条例第6条第2項の規定によりまして、本会議が成立しておりますことを御報告申し上げます。なお、本日の会議は会議公開条例に基づき公開で行われます。また、会議録を作成し、公開することとなりますので御了解いただきたいと存じます。

本日、松澤委員におかれましては、所用により欠席との御連絡をいただいております。また、参与でございますが、滝田参与、川島参与、吉岡参与につきましては、所用により欠席との御連絡をいただいております。その他の参与も、まだお見えになっていない方がいらっしゃるかと思いますが、後ほど来られるかと思っております。

それでは、中原区長の鈴木より御挨拶を申し上げます。

区長 皆さん、こんにちは。中原区長の鈴木です。本日も大変お忙しいところをお集まりいただきまして、ありがとうございます。また、日頃から中原区政の推進に関しまして御理解と御協力を賜りまして、ありがとうございます。

この間、区民会議の委員の皆さんには、「地域コミュニティ、みんなでまちをきれいに」ということで取組を議論していただきまして、また加えて、地域の課題を発見していただくということでテーマを探していただいて、なおかつそれを実践的に地域に結びつけていこうという中で、これもなかなか私の経験からは珍しいなと思っていたことの1つに、先だっては、区民会議委員の皆様自身がまちの中で活動していただくというような場面もありました。また新たな取組として、こういったことを行いながら広く隅々までいるいろな形で、まちの中での実践活動を、できるものできないもの等をうまく仕分ながら、地域の力で課題解決に向かっていくという取組ができるものと思っているところでございます。

年度内は今日が最後ということですがけれども、引き続き様々な課題について御議論いただくわけですし、いずれにいたしましても、皆様方がそれぞれ地域の代表であったり、様々な団体を統括されている方であったり、この会議の裏側と言うと変ですがけれども、この会議の後ろには多くの方々が大きな力で支えてくださっていると私は認識しておりますので、ぜひそれぞれの皆さんの立場から、多少議論を戦わせることがあっても、御意見をいただきながら進めていただければいいなと思っておりますので、本日も限られた時間ですけれども、どうぞよろしくお願ひしたいと思います。簡単ですが、御挨拶とさせていただきます。よろしくお願ひいたします。

司会 それでは続きまして、事務局より、本日の資料の確認をさせていただきます。事務局、よろしくお願ひします。

事務局 それでは、本日の資料の確認をさせていただきます。お手元にクリップでとまっている資料がございますので、外しながら御確認いただければと存じます。よろしくお願ひいたします。

まず1枚目、本日の次第がございます。

おめくりいただきまして、別添1、本日の席次表を御用意しております。次に、別添2、委員及び参与名簿を添付しております。

続きまして、こちらから資料になりますが、資料1、検討テーマ「地域コミュニティ、みんなでまちをきれいに」課題解決に資する提案のまとめでございます。資料1は、A3の3枚物になっておりまして、2枚目以降は、参考資料ということで、参考①、参考②と付番をさせていただきます。

資料2、A4でホチキスどめをしているものでございます。1枚目には、課題解決に資する取組案のまとめ、おめくりいただきますと、いろいろな提案についての説明資料にな

っております。最後のページに、「きれいなまちづくり活動」アンケートを添付しております。

資料3、第5期区民会議審議テーマについて、A3で3枚の資料になっております。

資料4、第5期中原区区民会議スケジュール（案）でございます。A3で1枚の資料でございます。

資料5、A4の1枚物でございます。第5期中原区区民会議中間報告書構成（案）でございます。

資料6、平成27年度「中原区地域課題対応事業」計画一覧表でございます。A3で2枚の資料になっております。

続きまして、参考資料1、第3回課題調査部会の会議録でございます。参考資料2、第3回運営部会の会議録でございます。

参考資料3、「なかはら区民会議だより」でございます。ただいま区長のほうからもお話がありました落書き消しの活動について表紙で示されている資料でございます。

参考資料4、先日行われました区民会議交流会の報告書でございます。暫定版ではございますけれども、お手元に御用意させていただいております。

資料は以上でございますけれども、本日、中森委員から御提供いただきました資料がございます。「かわさき国際交流センターニュース SIGNAL」の春号でございます。1枚おめくりいただきまして、左側の写真に参加者にインタビューをされる中森委員の姿も写っています。また、「国際交流センターだより」のチラシが1枚、中に同封されているかと思っております。こちらは、委員の皆様のための配付とさせていただいております。申しわけございません。

資料については以上でございます。

司会 ただいま資料について御確認をさせていただきました。資料の不足等はいかがでしょうか。ございませんでしょうか。

それでは、ここからの進行は委員長にお任せしたいと存じます。委員長、どうぞよろしくお願いいたします。

2 会議録確認委員の選任

板倉委員長 ここからの進行は私が務めさせていただきます。皆さんにおかれましては、期末に入って、それぞれ団体の決算だとか、年のイベントのまとめとか、報告書作成とか、お忙しい時期に入っていると思いますが、本日は御参加いただきましてありがとうございます。なお、本日、東京の桜の開花の報告もあったようでございますので、この3月を何とか乗り切って、花見を楽しむつもりで頑張りたいと思います。

それではまず、会議録確認委員の選任をさせていただきます。今回は中森委員と三上委員にお願いしましたので、続きまして、名簿の順ですが、長尾委員と塚本委員にお願いし

たいと思います。よろしくお願いいたします。

3 議題

(1) 第3回課題調査部会及び第3回運営部会報告

(2) 審議テーマ「地域コミュニティ、みんなでまちをきれいに」の審議経過について
板倉委員長 それでは、議題の審議に入らせていただきます。

まず初めに、第3回の課題調査部会の報告、続けて、第3回の運営部会の報告をさせていただきます。今回の審議テーマ「地域コミュニティ、みんなでまちをきれいに」に向けて討議を進めていきたいと思っております。

それでは、課題調査部会が2月2日（月）に、「地域コミュニティ、みんなでまちをきれいに」における課題解決に向けた取組について、それぞれ熱心に御討議をいただきました。その内容につきまして、課題調査部会の部会長であります成田副委員長に御報告をお願いしたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

成田副委員長 それでは報告させていただきます。2月2日（月）、第3回課題調査部会を部会員8名全員の出席により開催いたしました。

初めに、資料1の後ろに添付されております参考①をごらんください。第3回全体会議でも示されました今までの会議における委員の意見や提出シートなどの内容をもととした提案の整理を行い、内容に関する意見、補足、提案の再整理を行いました。また、運営部会、全体会議において、まちをきれいにを幅広く捉え、多様な活動団体が取組に関わることができるようにとの意見を受けまして、課題解決に向けた取組、提案などについて、さらに審議を行いました。

ここからは、さらに参考②を併せて御覧いただきたいと思っております。その結果、提案はどれも素晴らしいものではあるが、これを全て取り組むのは非常に大変で、全てを取り組めば数年以上かかってしまうという運営会議や全体会議における意見を受けまして、各提案の要検討事項や絞り込みに向けた確認事項等に対する意見交換を行い、絞り込まれた提案の内容の充実、効果についての検討として、参考①にあります提案③から⑪を基本として、4または5つ程度の提案の絞り込み、または優先順位を付与する等の提案の再整理に向けて、情報交換、意見交換を行いました。

同様に、提案の⑫、⑬にありますイベント・キャンペーン、広報などの方法や取り組む場の活用、推進の仕組みについても検討を行い、既存の取組のイベント、例えば子育てふれあいカフェで展開してはどうかといった全体会議と同じ意見も出されました。また、提案①、②の課題把握のアンケートの実施については、ごみ問題に限らず地域のよいところや課題を幅広く吸い上げるものにし、取組の実践や今後のテーマ抽出にもつなげてはどうかといった委員長、副委員長及び事務局の意見も念頭に置いた上で、設問内容、配布先、配布・回収方法についての検討をいたしました。

このアンケートにつきましては、提案者である萩原委員と課題調査部会長、事務局において調整させていただきこととなりまして、3月3日に改めて打ち合わせを行った結果、次にあります資料2、課題解決に資する取組案のまとめの最後に、きれいなまちづくり活動アンケートとして添付させていただいたものとなりました。

これにつきましては、3月10日から中原区商店街連合会理事会、区内公立小中学校、高校、保育園、中原区町内会連絡協議会役員会、なかはらっば祭り実行委員会などでアンケートを配布しております。また、中原区区民会議のホームページでも同様に意見募集を行っております。今後の予定では、遅くとも4月中旬頃までに回答の回収を行い、5月開催予定の第4回課題調査部会において結果を取りまとめ、第5回全体会議で御報告いたします。

取組提案の検討につきましては、さらに多様な意見が出されましたが、最終的に仕分けの達人ゲーム、啓発人形劇「フロンターレで毎日元気いっぱい!! 推進事業」美化・リサイクル版、区の木・花を活用したきれいなまちづくりの担い手育成、きれいなまちづくり活動啓発看板の設置といった課題解決に資する取組提案の絞り込みを行いました。

これについて、運営部会でも御意見をいただき、各部会委員の個々の意見をまとめた資料が次の資料2となっております。この後、運営部会の報告がありますので、そこで御覧になっていただければと思います。

今後、第4回部会の審議における最終取りまとめに続きますが、本日の会議においては、これまでの部会における審議内容について、また今後の部会における議論の方向性について御意見をいただきたいと存じます。

なお、会議の詳細な審議内容につきましては、参考資料1の会議録で御確認いただけますので御参照ください。以上で、課題調査部会の審議の報告を終わります。

板倉委員長 ありがとうございます。課題調査部会の審議結果について御報告をいただきました。

続きまして、2月19日に開催しました第3回運営部会の審議内容について、運営部会の副部会長である橋本副委員長に御報告いただきたいと思っております。よろしく申し上げます。

橋本副委員長 それでは、運営部会の御報告をさせていただきます。2月19日木曜日に、7名の委員全員出席のもと、運営部会を開催いたしました。まず、課題調査部会の審議経過を報告していただき、調査内容を確認しました。先ほど成田副委員長からの報告にございましたように、課題調査部会で具体的な課題や取組などについての議論が行われましたので、運営部会では、課題調査部会における審議経過を踏まえまして、今後の審議の方向性について、どのように全体会議で審議していただくかということを中心に検討いたしました。

それでは、資料1の一番右側にごございます2月19日第3回運営部会意見を御覧いただきたいと思っております。こちらが第3回課題調査部会で検討していただいた際の主な意見などを

もとにしまして、運営部会の審議において発言いただいた意見などを加えまして、審議経過をここに示したものでございます。

運営部会においても、先ほどと同様に、まず成田委員から報告をいただきまして、運営部会では、課題調査部会の審議内容を踏まえた上で、本日のこの全体会議で委員の皆様は何を議論していただくかについて話し合いました。とりわけ、全体会議では審議時間に限りがあるというようなことから、論点を絞って議論していただくことが必要ではないかといった意見もありまして、資料2の課題解決に資する取組案のまとめにある各取組案につきまして、特に取組の推進、今後の課題を中心として議論いたしました。

その結果、主な意見として、資料1にまとめられているとおりでございますが、「きれいなまちづくり活動、アンケート調査」につきましては、アンケート調査実施そのものが啓発になること、「仕分けの達人ゲーム」については中原区なりのアレンジが重要である、また、地域の子育てサロンなどでミニ講座を実施するなど場を広げていく、「啓発人形劇」については上演の機会や場の拡大を図る、分別するだけではなくその後のごみの行方まで内容として盛り込む、「きれいなまちづくり担い手の育成、きれいなまちづくり活動啓発看板の作成、きれいなまちづくり活動キャンペーン」については、既存の活動のネットワークづくりをもっと強調する、もっとメディアに取り上げられる工夫が必要である、区民の目に触れる機会を地道に増やしていく必要があるといったような意見がございました。

以上の審議等を踏まえまして、経過報告をまとめたものが資料2でございます。この件につきましては、後ほど事務局から説明をしていただくこととなります。

本日は、おおむね取組提案内容を決定いただきまして、その審議を踏まえて、引き続き第4回の課題調査部会において、具体的に取組や提案についてのさらに深い審議をいただくわけでございますので、今後の議論の方向性や視点について、また区民会議の提案する取組として、さらに実現性や実効する効果を高めるアイデア、手法などについても、皆様からアドバイスや御意見をいただきたいと考えております。

なお、会議の詳細な審議内容につきましては、参考資料2の会議録でそれぞれ後程、御覧いただきたいと思っております。私からの説明は以上でございます。

板倉委員長 ありがとうございます。運営部会の御報告をいただきました。さらに、これまでの審議結果を踏まえた取組案などを経過報告資料として資料2にまとめてございます。資料2について、事務局から説明をお願いしたいと思っております。よろしく申し上げます。

事務局 それでは、資料2につきまして、事務局から説明をさせていただきたいと思っております。資料2につきましては、ただいま御報告いただきました課題調査部会及び運営部会での意見を踏まえて取組の提案をまとめた資料でございます。既にアンケートにつきましては実施しているところでございますので、ほかの5つの取組案を記載しております。

おめくりいただきますと、左が1ページ、右が2ページとなっております、左側に取組提案の概要、右側のページには写真や図面等をわかりやすく載せております。時間の都合上、要点のみ御説明させていただきたいと思っております。

まず、1ページ、2ページでございますけれども、中原区版仕分けの達人ゲーム(仮称)の制作と活用でございます。まず、課題といたしましては、正しい分別方法が分かりにくいというところがございます、課題解決の方向性としては、こういったものについて区民が楽しみながら学べる場、体験できる場を創出していくという観点でございます。

取組の内容といたしましては、右の写真にありますとおり、現在、中原生活環境事業所が区内の小学校の授業で行っているごみの分別についての出前講座、こういった活動をベースにいたしまして、例えば区のキャラクターを使って中原区らしさを出すというようなことが議論としてございました。また、表記も英語表記を併記することで、いろいろな区民の方が挑戦しながら、ごみ分別とか再資源化を学べるような形にアレンジしていったらどうかという提案でございます。また、取組といたしまして、これを盛り上げていくためのアイデアとしては、成績を一定以上出した方には、仕分けの達人という認定をするというような提案もございました。

この取組を展開していく場といたしましては、資料の中段にございますように、なかはら子ども未来フェスタ、区民祭、また、インターナショナルフェスティバル、あるいは子育てサロン、いこいの家で行われているふれあい会食会、こういった場面でミニ講座的に展開していったらどうかという意見もございました。

取組のスケジュールといたしましては、平成27年度に仕組みの検討、試作版を制作して試行実施するという形で、平成28年度以降に完成して、活用していこうという想定でございます。

続きまして、3ページになりますけれども、人形劇による美化・リサイクルの啓発でございます。これにつきましても、ごみの正しい分別方法がなかなかわかりにくいということがございまして、解決の方向性としては、これは主に子どもにわかりやすく、親しみやすい人形劇の形式をとることで定着していただいて、親世代への波及効果も狙うということでございます。

取組の内容といたしましては、これも右側の写真を御覧いただければと思いますが、現在、啓発人形劇として、「フロンターレで毎日元気いっぱい!! 推進事業」を行っていただいております。こちらについては、川崎フロンターレ中原アシストクラブとひとみ座による川崎フロンターレのマスコットキャラクターを使った人形劇がございまして、キャラクターのふろん太くんの人形ですとか、応援歌の替え歌を使いまして、生活習慣や、歯磨きの大切さというものを伝える人形劇を区内の保育園で展開してございます。これにつきまして、例えばごみの分別やリサイクルに置き換えて、人形劇のストーリーに入れ込んでいったらどうかという提案でございます。

現在、既に中原アシストクラブさんが中心となりまして、来年度の事業の提案を行っていただいているところをごさいます、3ページの下のほうに、取組の担い手として、現在、市民提案型事業に申請されて、採択されれば平成27年度から実施の記載がございますが、先日こちらにつきましては採択決定されましたので、実際に行っていくことができる事業になろうかと考えております。区民会議としても、どのようなPR支援を行っていただくかということについて、今後議論が出てくるかと考えております。

続きまして、5ページ、6ページでございます。きれいなまちづくりの担い手の育成ということで、解決したい地域課題といたしましては、現在、コミュニティづくり等、既存の活動の認知度の向上とか互いのノウハウの共有といったところでございます。

課題解決の方向性といたしましては、きれいなまちづくりに関する景観のみならず、区民の交流、心の育成などの面からも幅広く捉え、既存の地域活動の広報を支援していくことで、さらにいろいろな団体との連携、協働による活動についても図っていくというものでございます。主に地域コミュニティといった部分を意識した提案になっておりますけれども、きれいなまちということで一般的にイメージしやすい活動だけではなく、区民同士の交流、活動団体同士の交流を促進していこうということでございます。

今までも交流イベント、事例が多く御紹介されておりますが、こうした事例を意識的に推進していこうということでございます。幅広く市民の活動に参加できると思っていただけるような形が重要だという意見をいただいておりますので、さらに企業による地域貢献活動といったものについても、新たな担い手として確保できるのではないかとということも議論されております。例えば、先日区の木、モモも制定されましたけれども、区の花、パンジーなど、こういったものについても効果的な活用をしていったらどうだろうかという提案でございます。

続きまして、7ページ、8ページに移っていただきまして、きれいなまちづくり活動の啓発物の作成でございます。地域課題といたしましては、やはり既存の活動の認知度の向上、あるいは優秀、優良な地域活動の顕彰、きれいなまちづくり活動の啓発といったところでございます。

解決の方向性といたしましては、こういった課題箇所とか優良箇所を積極的に周知することで、区民の意識を啓発するということでございます。

具体的な取組内容といたしましては、今行っておりますアンケート調査の実施結果を参考にしまして、地域の中の課題箇所、あるいは優良箇所の抽出をすることがございます。そのような箇所について、啓発物を制作、設置していくという提案でございます。主に啓発物については、区民会議発や、きれいなまちづくりといった表記なども添えて進めていきたいということでございます。地域に掲示することで、区民の皆様の目に入る機会を増やし、こういった取組の認知を向上させる、また区民の皆様の意識の啓発を進めていくという提案でございます。

区内のきれいな場所、区民に親しまれている場所をこれからも守っていくということであつたり、地域の課題箇所については改善を呼びかけるということが考えられます。これにつきましては、例えば啓発物のデザインについては公募を行うとか、川崎フロンターレの選手に登場していただくなど、なるべく訴求力の高いものにしてはどうかというアイデアも出てございます。

現在行っているアンケート調査の結果をもとに、具体的な啓発物の内容、掲示方法などの検討を進めていくということで、具体的な事例としては、川崎区の区民会議の提案による取組でございますけれども、8ページの上の写真については、右側に川崎区のマークと、その上に、少し見にくいですが、川崎区区民会議提案と書いてございます。こういったものが町内会の掲示板に、真ん中の写真のように設置されているという事例がございます。これを、中原区内のごみ集積所の掲示例を下の写真に載せておりますけれども、このような形での啓発物の内容や方法について現在検討されているところでございます。

次の9ページにつきましては、きれいなまちづくり活動キャンペーンでございまして、これは今まで出していたいただいた具体的な提案について、取組全体を推進していく、あるいは区民の認知度を向上させていくということなどが地域課題としてございます。これにつきましては、区全体でみんなで盛り上げるということで、多くの区民、区内の団体に認知していただいて、参加していただくという仕組みの提案でございまして、現在進めているアンケート調査で様々な情報を集めてまいりますので、こういった情報をより皆様に広がり意識しながら発信して、展開していくところでございます。

内容については、編集の方法とか媒体など、これから検討課題となっておりますけれども、例えば今回皆様に体験をしていただいた落書き消しは、ケーブルテレビ会社イツコムやタウンニュースなどのメディアに取り上げていただきましたので、今後もこのような事例を増やしていければと考えております。また、いろいろ頑張っている区内の活動団体がございますので、例えば区民会議から団体などを顕彰していく、励ましていこうというような案も出ているところでございます。

最後のページにつきましては、先ほど御紹介がありましたとおり、現在実施しているアンケートの内容でございます。

資料2の説明につきましては以上でございます。

板倉委員長 ありがとうございます。今回のテーマは非常に範囲が大きく、広く、それぞれを課題調査部会、運営部会の方々に審議いただいて、ここまでまとめていただきました。そのまとめの審査の経過を報告させていただいております。

今回の資料内容につきましては、5月の第4回課題調査部会による審議の中で最終案として取りまとめていく予定でおります。今回の討議としては、課題部会における審議の方向性、それから視点について、皆さんから御意見をいただきたいと考えております。特に取組とか方向性、不足している視点があるのではないかといったお気づきのことがござい

ましたら、質問なり、御意見をいただきたいと思っております。

それでは、どなたか御意見はございませんか。——毎度のことで申しわけありませんが、順番に伺います。山崎さん、どうでしょうか。

山崎委員 とてもまとまっていて、わかりやすい御提案でありありがとうございます。資料2の1ページ、中原区版仕分けの達人ゲームですけれども、環境グループさんなどが中原区にはあると思うんですけれども、そのような団体との連携についても少し考えてみてほしいかなと思いました。

2つ目の人形劇については、子どもを対象ということですが、うちの周りでごみの分別の仕方が分からない方というのは、結構御高齢の方もいらっしゃるし、ひとり暮らしの方のごみの出し方というのは大変乱雑な場合もございますので、老人会なども対象にしてもよろしいかなという感じはいたしました。

きれいなまちづくり担い手の育成については、ネットワークをつくるとすれば、コーディネートをするのは自主的に団体さんの中でやっていただくのか、それとも区民会議のほうで少しコーディネーターを用意するのかなとか、そういう面についても少し御検討いただければと思いました。

場所としては、子どもが集まる場所として、図書館とか、こども文化センターなどもちょっと考えてもよいのではないかという気がいたしました。実現するかどうかよくわかりませんが、ただ言うだけで申しわけないですけれども、そのような考えも浮かんできました。

アンケート調査結果で、啓発と、もう1つ、最後のキャンペーンということになりますけれども、このアンケートの出し方については後で御説明があるのかなとは思いますが、団体さんが対象ですので、ぜひ全団体から御回答いただけるような、そういう有効なものにしていただければいいと思いました。

以上です。

板倉委員長 テーマの数はどうですか。これだけこなすのはなかなか、そのことについて何か御意見はございませんか。

山崎委員 テーマの数はとても多いなと思いましたが、すみません、初めてなので、どのくらいの期間でというような長期的な展望が私にはできないので、1つ1つ御意見を述べさせていただいたところです。

板倉委員長 ありがとうございます。では、松本さん、お願いします。

松本委員 まず、仕分け達人ゲームについてです。確かにお子さん、それから特にごみを出す場合は、高齢者の方は確かに多いわけですが、今ひとり暮らしの方とか、後期高齢者の方もたくさんいます。そういったゲームのときに、各町会で廃棄物減量指導員が携わっておりますので、指導員にも参加していただく。それから、生活環境事業所の方、また中学生、高校生とか、各団体からそれぞれ各年代の方が参加していただくのがいいと思いま

す。

また、美化・リサイクルの啓発についても、外国人の方もおられますので、また場所も、国際交流センターで行うなどいろいろな場所で行うほうがいいかと思います。子ども会のイベントがあったり、各地域ではそれぞれ決められた時間に清掃活動をしていたりする場合があります。そういうイベントのところで行うのがいいのではないのでしょうか。

人形劇の場合は、ひとみ座さんが人形劇を行うときは、やっぱり川崎フロンターレと一緒に活動がいいかと思います。

啓発物の作成については、区の木、モモ及び区の花、パンジーも含めた形で、また、20年構想委員会でやっておりますパンジーの配布会。中原区の中でそれぞれの各団体がありますので、一緒になってイベントを行ったほうがいいと思います。

一応、気がついたところではそういったところです。また、さらに少し考えて発言をしたいと思います。

以上です。

板倉委員長 ありがとうございます。では、萩原さん、お願いします。

萩原委員 今回、区民会議のテーマとしてふさわしい地域コミュニティ全体で少しでもきれいなまちにしようということで、テーマがとても広いですけれども、やっぱりよかったなと思っております。これで成果が少しでも上がるといいんですけども、アンケートにつきましても、諸団体とかボランティアグループ、町内会さんだけじゃなくて、今回店舗や企業、学校なんかにぜひ広げたいということで、工場協会のほうも、機関誌の発送には間に合わなかったんですけども、全部にファクスでアンケートを送っていただきました。工場協会のほうから全部の企業に出しております。

また、私もいつも二、三十枚は持ち歩いて、いろいろな人に会うたびに渡していますけれども、皆さんちょっと考えるんです。それで、前はやっていたけれども今はやっていないんだよねというところも結構あって、敷地内だけのことじゃなくて、企業や店舗の外、周りとか、そういうところをみんなで手分けしてやっていたんですけども、それがやらなくなったのでも構わないので書いてくださいとお願いしています。それは必ず課題があるわけで、例えば人手だとか、時間だとか、ごみを集めたけれども持っていく人がいなかったとか、いろんなことがあると思うのでぜひお願いしますと。また、書こうと思って、うちは何もしていないと気がつくこともとっても大事なと思うので、ぜひここにいらっしゃる方、顔の広い方ばかりなので、20枚ぐらいはいつも持って皆さんにお願いしてほしいなと思います。

また、ちょっと思うのは、地域振興課さんがそういうボランティアグループをたくさん統括していらっしゃるの、区民会議は企画課担当ですが、区役所の中で、ぜひ地域振興課のほうでも、一緒にアンケートを集めていただきたいなと思います。その結果で、少しでも自分に何ができるか、まちがきれいになるために何ができるか、気がつくことがいっ

ばい出てくると思うので、やりたいと思っています。ありがとうございます。

板倉委員長 ありがとうございます。仁上さん、お願いします。

仁上委員 私は、運営部会、それから課題調査部会に出席させていただきまして、当初は様々な意見が出て、どうやってまとまるのかなと思っておりましたけれども、徐々にこれは事務局の皆さん、それからコーディネーターの方の力も相当あると思うんですけれども、非常にコンパクトにまとまりつつある。それでも5つの課題ということで、こうやって順序立てて説明を聞くと、何となく先が見えてきているような気がいたします。このまま続けていけば、何らかの成果が出てくるんじゃないかなと。

それともう1つ、萩原委員が話をしましたけれども、アンケートのことですけれども、先日知り合いとちょっと話していましたら、中原区の区民会議の封筒でこういうアンケートが来たという話題が出て、実は私もそれに参加しているということで話が弾みましたが、既にそういうアンケートをもらっている、区民会議が発信したそういうアンケートがいろんな方に届くということ、これは1つの成果だと思います。その回収がどのようになってくるのか、その結果、また動きが変わってくるでしょうけれども、今報告された5つの方向性で順次スケジュールどおり進めていけば、必ず成果が出るんじゃないかと私は期待しております。

また、何かお手伝いすることがあればと思い——2月でしたか、小杉周辺の落書き消しに参加させていただきました。非常にいい体験をしたと思っております。まちなか、ふだん気がつかないようなところ、こんなところにいたずら書きがあるんだと。それをどうするのかと思ったら、比較的簡単に消せる方法もあるというのは新しい発見でございました。何とかこういう動きが1人1人の中に伝わっていけば、必ずやさしいなまちづくりに一歩近づいていくのではなかろうかと思っております。

以上でございます。

板倉委員長 ありがとうございます。では、中森さん、お願いします。

中森委員 テーマのとおり、みんなでまちをきれいにとということで、結局ごみのことがメインになってしまうかもしれませんが、この取組をこのままやると、まちをきれいにとするのはみんなでやることで、いろんな世代の方たちが参加しやすくなって、交流ができて、そこでまちがすごく明るくなると思って、ぜひこれを進めていきたいと思っています。子どもを中心に活動をやろうというのは、将来のことを考えてまず子どもからスタートしないと、将来、その子たちが大人になってそれが習慣になって、ふだん小さいときからやっていたことは大人になっても普通にやるようになると思うので、できるだけ子どもたちを中心に活動したほうがいいと思っています。

中原区のシンボルの花とか木もあって、それを活用するのもすごく大事ななと思っています。

以上です。

板倉委員長 ありがとうございます。では、長尾さん、お願いします。

長尾委員 私は部会には参加していませんので、前回すごく項目がたくさんあったのが、とてもコンパクトにまとまって、とてもわかりやすくなって、ありがたく思っております。特に仕分けの達人ゲームというのはとてもおもしろそうだなと個人的に思いまして、小学校の中学年で出前ごみスクールをやっていると思いますが、そこで一緒にやっていたり、そのときに参観日などを合わせていただくと、PTAのほうにも情報が伝わってきますし、すごく楽しく勉強できるのではないかと思います。

あと、PTAのほうで成人委員会というのがありまして、保護者向けの勉強というか、いろいろな啓発みたいなのを行っています。そこにも取り入れていくと大人にアピールできるのかなと思いました。

それから、きれいなまちづくり活動で、ポスターとか写真の募集というのも先ほど項目を見ましたけれども、これはあまりごみ問題とかに興味がない人でも、きれいなところの写真を撮るのは好きな方とかたくさんいらっしゃいますので、幅広い層にアピールできるのではないかと思います。

以上です。

板倉委員長 ありがとうございます。では、仲亀さん、お願いします。

仲亀委員 私自身、きれいなまちづくりに参加するということが難しいといえれば難しいですけれども、やはりきれいなまちづくりということ、その言葉自体、お1人お1人の心の持ち方ですか、きれいな心を持っていらっしゃる方たちがそういうことに実際携わってくださっているということ自体が、本当にうれしいなと思います。

それで、その中でまた私自身がいつでも何事にも加わっていけないということがちょっと寂しいなという気持ちがあるのですが、こうして区民会議の中でこういうような活動をしてくださっているということ、小さい子どもさんたちには人形劇を、小学校の子どもたちにはごみの仕分けをすとか、子どものときからそういうところに携わって大人の人たちのことが分かっていくということがとてもすばらしいことだと思います。

私自身も、何事にも自分でできる範囲内で加われるところには、加わらせていただきたいと思います。

以上です。

板倉委員長 ありがとうございます。では、塚本さん、お願いします。

塚本委員 私は、課題調査部会のメンバーで、たくさん出た中で絞り込みをしていこうということで、ようやく5つになりましたけれども、それでもまだ、これでやり切れるか心配なところがややあるので、優先順位をつけてしっかりやっていきたいと思っています。

たまたま今日の午前中、この区役所の5階で違う会議をやっていたときに出た話ですが、中原区の6割の人が集合住宅に住んでいて、それでも賃貸の割合が多くて、若い人も多くて出入りも多い。そういう意味では、コミュニティにあまり帰属意識も持ってい

ないし、関心もない人が多いというのがコミュニティ上の課題だよというのをある先生がおっしゃって、ただ、そういう人たちは、意識はないんだけど、例えば商業施設にはすごく行くとのこと。最近、大型商業施設なんかもたくさんできていますけれども、そういうところには多分たくさん集まっているはず。なので、例えばこういうイベントをやるときに、こう言うては何ですけれども、役所の主催とか真面目なテーマで会議をすると、どうしても意識の高い人しか参加しないという話がよく出てくるので、こういったことをぜひ商業施設にも提案して、人が多く集まっているところで、この人形劇をしたり、分別ゲームをやらせてくださいと一緒に巻き込んでやっていく。私たちの小杉駅周辺エリアマネジメントのお掃除の活動も、商業施設の人と一緒にやったりもしていて、企業とか商業施設も、まちをきれいにということについてはすごく理解のあるところが多いので、ぜひぜひそういう協力者を広く民間というか、企業の力も合わせてやっていけたらいいなと思いました。

以上です。

板倉委員長 ありがとうございます。では、田中さん、お願いします。

田中委員 人形劇、美化・リサイクルの啓発ということでございますけれども、ちょっと話が飛ぶんですが、中原交通安全協会、それから防犯協会が5月に啓発といたしましろうか、まちの中を歩くということで去年もやっておりますが、これに伴って、例えば固定的な場所でPRするより、少し移動しながらやったらどうかと、考えるんです。

これは、実は交通のことを考えますと、昨年NECのところから小杉駅まで、ちょうどメインの大勢集まる場所といたしましろうか、そういうところで警察音楽隊に来てやっていただいたんです。今年は、5月に川崎フロンターレの大久保選手が入ることに決まりました。それで、交通安全協会と、これに防犯協会が絡みましてパレードをするということですが、ルートその他細かいことはまだ決定しておりませんが、大久保選手が来ることだけは決定いたしました。

それから、まちづくりの担い手の問題ですが、これはすぐ育成というわけにはいきませんので、私が前に申し上げた中学生が絡む、このことをもう1度、御提案申し上げたいんです。私のそばの学校は、30数回、年に1回でございますが美化活動を地域と一緒にやっております。これにつきまして、非常に私は効果的だと思っておりますし、アンケート、今日お持ちすればよかったんですが、子どものアンケートはすばらしいものが入っております。自分のまちの中のどういうところが欠点か、またいい面はどういうところがあるのか。それから、地域の方々と一緒にどういうことができ、どういうことにメリットがあったか。こういう細かいことが、非常にすばらしい中学生の意見として出ておりますので、これらも勘案しながら、私の考えとしては、中学生、あるいは高校生でもよろしいでしょう。

それから、第4日曜日は美化活動、これは当然私の町会もやっておりますが、一般の

方々も結構来ておりますし、各スポーツ活動、子どもの運動、こういうサークル、例えば野球とかサッカー、こういう子どもが来て、遊ぶ前に一緒に活動するというところでございます。

学校を含めてやっているということで、私のほうから、以上、報告とさせていただきます。ありがとうございました。

板倉委員長 ありがとうございます。では、反町さん。

反町委員 今、皆さんのお話もお伺いして、今回5つまで絞り込まれた内容については、いずれもすばらしいと思っております。

そんな中で、先ほど委員長からも足りない視点はないか今1度とのお話もありましたが、足りない視点というわけではないですが、今回それぞれすばらしい企画の中で、私自身の頭の中で順番に、例えばそれぞれの項目、テーマごとに、大体対象とされる世代とか、1回これを実施することでどのくらいの範囲に影響力があるかとか、成果が期待できるかとか、これをやることの大変さとか、コストとか、今ずっと簡条書きの形ですけれども、今さらですけれども、頭の中で思い描いていたんですが、本当は図みたいな形で、もうちょっと視覚的にわかるような形でまとめられればよかったなと思いました。

そんな形で、例えば仕分けの達人ゲームというのは、やっぱり子ども向けだと思うんです。人形劇も子ども向けだなと。人形劇だと仕分けの達人ゲームよりももう少し小さい子どもでも対象にできるのかなとか、そんなことを考えていました。

その下のまちづくり啓発活動とか、啓発物をつくって、それをどんな人が見るのか、実際キャンペーンにどんな方が参加できるのか、どんな世代の方なのかとイメージしていました。そういう啓発物を、どうしても市の関係の事業とかでつくる啓発物というのは、それが設置される場所が、一般的な感覚だと役所に置かれたり、市の関係施設だったりして、例えば印刷物の場合、それを手にとって見る方というのは、どうしてもある程度地域に関心のある方になってきてしまうのかなと。

今回、まちをきれいにというところで、1つは先日区民会議としても行われた落書き消し活動。そもそも落書きを書いた人はどんな人かなとか、きれいにという意味では、ごみを捨ててしまう方とかをイメージします。特に落書きとかは、これは私の個人的な感覚ですけれども、少しやんちゃな、いわゆる若者と言われる方がきっとスプレーとかで書くのかなとそんな想像をしております。そういう方々に本当は直接伝えられれば一番いいのかなと思うんですけれども、それはなかなか簡単ではないなというところでは、そういうのがだめだという雰囲気、まちを挙げてつくっていくことがすごく大事なのかなと思えます。

もう1つは、将来、多くの方がそういうやんちゃな時代も経て大人になっていく過程があると思いますが、その上で、そういうやんちゃ過ぎるような、まちに落書きをするというのは大変なことだと思うので、落書きなどはしないような教育といたしますか、それこそ

幼稚園、小学校、中学校、高校との過程で、若者の皆さんに伝えていくことが重要なのかなと思いました。

最後に、これは前回も少し私も申し上げましたが、例えばすごくいいなと思っている企画の中で川崎フロンターレさんの人形劇がありますけれども、これは実際にひとみ座さんが実演するというので、なかなか回数を、今年度やられていた際も、人形劇としては数を何十回とやっていくのは現実的ではないと伺いました。そのためには、実際の模様というんですか、劇を動画とかで撮って、今でしたら動画サイトとかに上げて誰でも見られる形で、人形劇そのものを見る機会は余り数多く提供できなくても、動画とかで見て、子どもさん、あるいは親子でお楽しみいただけるような形で配信していけると、よりやる価値が高まるかなと思います。

長くなりましたけれども、以上です。

板倉委員長 ありがとうございます。それでは、園部さん、お願いいたします。

園部委員 初めは雲をつかむような課題というか、話し合いだったんですけども、自分もこの部会には属しておりましたけれども、本日、こんなきれいにまとめられてよかったかなと思っております。

実際問題として、きれいになっているところ、例えばこの間、私は落書き消し活動に参加できなかったんですけども、落書きを消したところのごくごく最近通っても本当にきれいになっています。もう1つは、私の家のすぐ近くのごみ置き場がとてもきれいになっているところがございます、そこはいつ行っても本当にきれいなんです。だから、実践に勝るものはないのかなと思うんです。

これだけたくさんいろいろ活動することがありまして、実際のごみを出すのは、先ほどちょっとお話があったんですけども、私たち、ないしは私よりちょっと若い人たちというか、実際にごみを出す人によくわかっていただければいいかなと思います。そして、それをできる、私は中町婦連という立場でございますので、どうしても町会の婦人部という意識がありまして、そういう町会の活動の中で環境事業所の出前講座があるというお話でしたね。ほとんどの方が分別はできているんですけども、あえて自分たちのごみのところをすごくきれいにしておくということが一番お手本、見本になるのではないかなと思うので、実際にもう1度、繰り返し反復という意味で、そういう講座をしていただいりして、自分たちのところをよりきれいにする。なおかつ、いろんなタイプの人がいらっしゃいますので、町会だけにそういうお話をするとっても本当に限られてしまいますので、少し勝手をいえば、いろんな場面をとらえて、こういうふうにもいろいろPRをしていくことは、大変だとは思いますが、ぜひできたらいいかなと思っております。

以上でございます。

板倉委員長 ありがとうございます。それでは、梶川さん、お願いします。

梶川委員 1番から5番まで、すばらしい案をつくっていただきまして、また、それぞれ

皆様からいろいろお話をお聞きしまして、本当に同じような考えで、ああ、よかったなと思っております。

1つ、ゲームとか啓発運動に対しては、うちは住まいが木月のほうですので地域が外れていて、なかなか市民館のほうまで高齢者の方たちが行くことができないので、ごみの分別とかにも大分慣れてきましたが、後から越してきた方とかにも知らせるために、地域の集積場所にわかりやすい漫画的というか、ポスターを設置していただければいいなと思っております。

それから、先日の落書き消しも参加させていただきましたけれども、本当に大変だなと思いました。今朝、消したところがどうなっているかなと思って通ってきました。昼間はシャッターが開いているので分からないですけれども、きれいになっていたので、やっぱりきれいになると書く人も書かなくなるのかなと思いました。

それから、私は文化協会から出ていますので、文化協会の広報誌にもこの区民会議で活動している内容を書いたり、それから理事会などにもここであった問題というか、課題をお話しするようにしています。あとは、皆さんと同じようなことです。

以上です。

板倉委員長 ありがとうございます。では、尾木さん、お願いします。

尾木委員 部会の皆さん方、御苦労されて、問題点をよく整理されているなと思います。

これはこれとして、先週、実は美化活動でJR武蔵中原駅周辺の清掃を朝のうちにやっただけですけれども、非常にまちがきれいになりましたね。何年か前に同じ場所をやったときはたばこの吸い殻とかいろいろ落ちていましたが、先週清掃したときは、ごみを探すのに骨が折れるぐらいきれいになっておりまして、まちをきれいにとすることは確実に区民の皆さん方にある程度浸透してきているのかなと感じられました。

この課題調査部会の提案については、どれもこれもみんな大事なことでございますので、取り組めるところからまず取り組んでいくという姿勢でいろいろやるといいと思います。特に人形劇というのは、子どもたちが非常に興味を持たれると思いますので、子どものときから美化に対する感覚を育てていただけると、将来的にはもっときれいなまちになるという感じがしております。

いずれにしても、部会の皆さん方の御苦労に心から感謝申し上げて、私の意見とさせていただきます。

板倉委員長 ありがとうございます。では、梅原さん、お願いします。

梅原委員 きれいなまちづくりをテーマとしてきたわけですが、最初これはすごいテーマだなと思ひまして、たくさんいろんな問題があるのではないかなと思ひたら、やはりいっぱいあるんです。これを全部やろうと思ひたら大変ですね。絞るのは大変だと思ひていましたが、2点だけちょっと話をさせていただきます。

まずは、落書き消しというのに参加させていただきましたが、大変な苦労することです

ね。消すといっても、消す品物に権利がいろいろあって、JR東日本や、市が消す処理をしているわけです。勝手に落書きを消すことができません。それから、今度は消すための薬剤によって消してはいけないものが消える。だからこれは使えないとか、1つ1つのテーマにいろんな問題があります。

それから、ごみの問題もありますけれども、実は住んでいる近くに外国籍の方が住んでいるマンションがあります。そのごみ置き場では、分かる人はきちんと分別して出しますが、そうじゃない人は分別せずに出す。適当に出すからカラスが来てひっかき回す、道路が汚くなる、いろいろなことがあります。一時期に、多くの課題を一気に一時的にやるだけじゃなくて継続が大事です。そういうことを非常に感じておりました。

以上です。

板倉委員長 ありがとうございます。では、井上さん、お願いいたします。

井上委員 川崎フロンターレ中原アシストクラブの井上です。私は、課題調査部会のほうでいろいろと話もさせていただきました。今回絞り込んだ事業については、中原アシストクラブのほうも人形劇という形でいろいろ参加していきたいところではありますが、実際に部会の際のこの課題の議論で、どういった人たちにテーマを当てていけばいいのかというときには、ここにも出たごみの分別意識が低い区民の存在というところに今回取組案の中に直接的にアプローチできる事業ができなかったというのは、少し残念だなと感じたのが正直なところの感想です。

ただ、ここにも啓発看板の設置というのがありますので、このところでしっかり、もちろんサラリーマンの世代や、今言った外国籍の方に正しく伝わるように、ちゃんと目につくようなしっかりした看板をつくっていただいて、そういうところで啓発できていけばいいのかなと感じました。

それと、取組の提案のほう全部で5つ出たということで、成功することができるのかという心配もあるかと思いますが、実際に取組の担い手を見ると、ほぼ全て既存の団体の方が中心になってやるということなので、問題なくできるのではないかなと感じました。ただ、区民会議からこういったことをやってみようというからには、一番大切にしないといけないのは、当然この事業をやったら、参加していただいた方、興味を持っていた方は、皆さんやってよかったとか、参考になったとかいう感想はいただけるかと思うので、この区民会議に出したところで、何か変わったものというか、あえて特色を持たせていくというのであれば、やはり中原というところはしっかり意識した事業にしていたほうが良いかなと感じました。

この事業、いろんな地域でやっているかと思いますが。あと、先ほども言いましたけれども、やってよかったとなるところに、自分の住んでいるまちはこういった事業に力を入れているんだ、だからよかったという感想に変わるようなことがこの区民会議からちゃんと発信できることによって、「地域コミュニティ、みんなでまちをきれいに」というテーマ

は、最終的にはこの中原の郷土をみんなに好きになってもらおうというところにつながるものなので、やはりこの中原というキーワード、中原らしさというものをちゃんと各事業にしっかり入れていくことが大事なんじゃないかと思っております。

以上です。

板倉委員長 ありがとうございます。では、石川さん、お願いします。

石川委員 商店街の代表で出させてもらっているのは私だけだと思います。皆さん、随分ごみの話をしていますけれども、商店街におきましては、ごみというものは変な出し方をすると、お店を出すのに非常に迷惑になります。だから、それぞれのお店の奥様が非常に気を使って分別して出しております。それは非常にうまくいっています。また、商売において出るようなごみというのは、商店街でごみを集めてくれる人をお金を出して頼んでいます。ですから、出ないとは言いませんけれども、市で集めてくれるようなごみはそんなには多く出ないのではないかなと思っております。

そこで、落書きなんかは、ちょうどアーケードがあるんですけども、アーケードの柱なんかによくマジックで書いてあります。あんな高いところにどうして書くんだろうというぐらいのところ。椅子を持ってきて書いたらすぐに消すようにしています。私ができないときは事務員にさせ、みんな商店街で消しています。次の日はないようにしておかないと、どんどんみんながまねして書いちゃいます。だから、そのように意識しております。

あと、商店街で一番皆さんのお役に立つてできることは何だろうと思ったときは、安心・安全ですか。要するに、冬の間は午後4時半から次の日の朝5時頃まで、全部街路灯の電気はつけてあります。それが遅く帰ってきた人が歩くにも一番安心じゃないかと思っております。今はちょっと明るくなってきましたので、午後6時頃から朝の5時頃までつけています。あとは皆さんがおっしゃっているのを聞きして、本当にみんな勉強しているので驚かされました。

どうもありがとうございます。これで終わります。

板倉委員長 ありがとうございます。全体を通して何か御意見はございますか。

それでは、時間の関係で発言はここまでとさせていただきます。多くの御意見をいただきましたので、今後の課題調査部会で審議していく上での留意点としてまとめさせていただきます。

事務局と調整をして、私に一任という形でまとめていきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

板倉委員長 それでは、そのようにさせていただきます。

(3) 区民会議における次の審議テーマについて

板倉委員長 続きまして、3つ目の議題に移りたいと思います。

これもまた時間がかかりそうな話ですが、区民会議における次の審議テーマについて審議を進めていきたいと思えます。事務局から資料の説明をお願いします。

事務局 それでは、資料3につきまして、事務局から説明させていただきたいと思えます。時間の都合で概略的な説明になるかと存じますけれども、御容赦いただきたいと思えます。

まず、第5期区民会議の審議テーマについて、今、資料3でお示ししているものは、第2回区民会議に出した資料を基に作成しているものでして、1つ目の審議テーマを決定する際の資料を少し変更して作っているものでございます。

現在、1つ目の「地域コミュニティ、みんなでまちをきれいに」という審議テーマについて、大分、大詰めを迎えているところでございまして、改めて1つ目のテーマを決めた際の流れを振り返りながら、次のテーマをどのように決めていくかということについて、皆様の御意見をいただきながら進めていきたいと思えます。

実際にこの次のテーマを決めるのは本日ではなく、次回の全体会議のときに次の審議テーマを決めていただくことを予定しておりますので、今は前段階の整理になります。

まず、この資料ですが、左上に、中原区の現状・課題とありまして、その右側に、第1回区民会議における意見からのテーマ候補とございます。これは皆様に出していただいた意見をまとめたものでございまして、まず左側については、中原区の現状としては、小杉駅を中心に新たに転入してきた住民の方にも、皆様に愛着を持って長く住み続けてもらいたいということで、地域コミュニティにおける交流・助け合いを深めようというところがございました。また、個別の分野ごとに見ますと、右にありますとおり、様々な分野が皆様のほうから課題として出されているところでございます。子育て、今回の地域コミュニティ、あるいは交通、ごみもございまして、いろいろ分野を横断するテーマもございました、さらにその他として様々なテーマも出されておりました。

今回のテーマを決めるに当たりましては、左側の矢印を下に見ていただきますと、第1回の運営部会における意見がございまして、ふさわしいテーマのイメージとして、多様な区民・主体が共に取り組めるということであったり、誰もが参加しやすいというようなこと、こういった観点でまた様々な意見が出されたところでございます。さらに、目標や成果がイメージしやすいということを踏まえまして、1つ目の審議テーマ「地域コミュニティ、みんなでまちをきれいに」が決まったところでございます。

2つ目のテーマにつきましては、まずは1つ目のテーマを審議して、それが終わる段階で決めましょうということになっておりまして、その段階で、例えばほかの課題ですとか、緊急を要する課題が出てきたらそのときにまた考えていきたいと思いますといった整理をさせていただいております。

この資料の右側については、今後、新たな審議テーマを決めるに当たっての流れをまとめている資料でございますけれども、第1回区民会議におけるテーマ候補の下に、今、川

崎市の未来を考える市民検討会からという箱をつくらせていただいております、ここに4つほどテーマを書いております。

これは昨年8月23日に行われた市民検討会、今現在進めている新たな総合計画の策定に関して市民検討会を行った際に、中原区の主なテーマとして掲げていた4つを掲載しているものでございます。具体的には、2ページ、3ページにその資料を載せておりますので、また後ほど御参照いただければと存じます。

こういった観点も含めてこれから考えていくテーマの1つとなる部分もあるかと思えますけれども、主に防災・防犯、自転車の利用環境、あるいは1つ飛んで子ども支援といったところは、もともといろんな審議の中でも、今回も皆様のほうからも意見として出されていたところですが、高齢化の進行は余り以前の意見にはなかったところですが、今後、川崎市中原区も高齢化率が上がってくるといった中で、市民検討会の中ではテーマとして出しているところではございました。

こういったところも含めまして、今後新たな審議テーマに関する意見交換を行っていただきたいと思えます。

今後のスケジュールでございますけれども、恐れ入りますが、資料4、区民会議スケジュールを御確認いただければと思えます。本日は、平成27年3月、第4回区民会議でございます、今審議いただいているテーマ「地域コミュニティ、みんなでまちをきれいに」につきましては、次の第5回区民会議で最終決定するというスケジュールになっております。この第5回区民会議では、あわせまして、次の審議テーマについても決定することを予定しております。そのためには、第5回区民会議の前に行われます第4回運営部会で少し検討テーマの整理をさせていただきたいということでございます。

資料3にお戻りいただきまして、本日は、新たな審議テーマに関する意見交換をさせていただきまして、その後、矢印の下に続いて、運営部会での検討・整理となってまいります。最終的には一番下、新たな審議テーマは第5回全体会議で決定ということでございます。本日、皆様に意見交換をしていただくとともに、また次の会議まで少し時間がございまして、再度皆様に意向調査も行わせていただきながら、運営部会でそれを整理させていただいて、第5回の全体会議で分かりやすく資料にまとめていきたいと考えておりますので、本日は皆様から、どんなことをやっていきたいかという御意見を簡潔にちょうだいできればと考えておりますので、お願いしたいと思います。

資料の説明については以上でございます。

板倉委員長 ありがとうございます。事前に委員の皆様宛てに資料の配布があったと思いますが、実際にテーマを決定するのは、説明のとおり、次回の全体会議で決めるという形になります。本日は、皆さんのフリーディスカッションといいますか、ある程度テーマを決める上で必要な視点など、皆様のお考え、御意見をお聞かせいただきたいと思っております。

もしなければ、また、皆さんそれぞれの御意見をお伺いしたいと思っております。石川さん、どうでしょうか。

石川委員 今までどおりの形でよろしいではないですか。特別何か新たに変わったようなことは考えていません。

板倉委員長 第1回のテーマをもう少し、1回やったものを全体として煮詰めていくと。

石川委員 そうですね。掘りさげていくといいますか。

板倉委員長 わかりました。深掘りするというので。では、井上さん、お願いします。

井上委員 審議テーマを2つに分けた理由というのは何かありますか。

板倉委員長 もともと2つのテーマを前半と後半とやりましょうと。

井上委員 という話になったのは、いろいろ課題があるから、この中で2つをやっているということですね。

板倉委員長 過去の会議では3つの審議テーマをやっていたこともありますが、3つだと審議や検討の時間が短く、審議が足りなくなりがちだったので、今期は2つでやってみようということです。

井上委員 わかりました。そうしましたら、まず、やはり住んでいる方たちからの何かニーズがあってというもので何か吸い上げていくのか、その中で先ほど石川委員からもありましたけれども、テーマとしては他のものではないほうがいいのではないかと思いますので、今言った、これにとってかわるといいう言い方はちょっとおかしいですけれども、美化と同じぐらい取り組んでいかないといけないものがあれば、そちらにシフトしていくという流れでよろしいかと思えます。

板倉委員長 今アンケートをやっていますので、それがまとまるとまた違うテーマが出てくるかもわかりませんので、そのあたりは留意しておきます。

それでは、梅原さん、お願いします。

梅原委員 私、ボーイスカウトに入っていますが、ボーイスカウトで例えばカブ隊（カブスカウト）という小学生の隊、ボーイ隊、あるいはビーバー隊という小学生の低学年。これは定期的に老人ホームだとか、そういうところにいろんな芸を、例えば手品を見せるとか、歌を歌うとか、昔の歌をその前で歌うとか、子どもと老人との接触を図っています。これはなかなか評判がいいです。ですから、実は毎年、いろんな隊がありますから、各隊がいろんな施設を訪問するというのを定期的にやっています。

それで、このテーマを見ましたら、資料の3枚目の参考として高齢化の進行と支え合いの体制づくりというのがあります。その横に総合的に子ども支援の推進というのがあります。そうすると、最初に子育てというのがありますけれども、例えば親子交流とか、居場所づくりとか世代交流とかいろいろなのがあるわけですね。そうすると、子どもと老人を結びつけるようなテーマを選ぶといいのではないかという感じはしております。それは私の意見です。

板倉委員長 尾木さん、お願いいたします。

尾木委員 資料3で、意見のまとめがありますが、それから矢印で新たな審議テーマに関する意見交換とあって、その間に、川崎市の未来を考える市民検討会からというのがありますよね。これを参考にして欲しいということでしょうか。

事務局 これは参考に置かせていただいておりますけれども、先ほど事務局から説明いたしましたとおり、総合計画を策定するに当たって、無作為抽出で中原区民の方に市民検討会というのを実施したところでございます。その際、区民の方が中原区の課題として認識したものがこの4点だったということです。したがって、中原区における課題として、こういうものがあるということで置かせていただいたということでございます。

尾木委員 そうすると、今梅原さんが言われたように、高齢化の進行というの、我々も町会をやっているわけでございますけれども、身近な課題であるかなと思っています。どれもこれも4つの事例は大切なので、優劣をつけがたいですが、何か絞っていくと、今の私の立場で言うと、高齢化の進行と支え合いの体制づくりというのはすごく魅力があるような感じがしております。

板倉委員長 ありがとうございます。では、梶川さん、お願いします。

梶川委員 この4点はみんないいと思いますが、地域防災力の向上と防犯対策というの、今防災の面で、絶対に大型の地震が来ると言われていますので、減災とかそういうものを少しずつみんなで勉強すると、いざ起きたときにいいのではないかと思います。もう1つは、上のほうに魅力発信とありますね。それもいいかなと思っています。ちょっとまだまとまっています。

板倉委員長 ありがとうございます。では、園部さん、お願いいたします。

園部委員 私は、まず高齢化の進行と支え合いの体制づくりというのをこの中では一番感じましたけれども、3・11の地震以来、4年たって、高齢になった方たちへの支え合いとか、防災というか、それも含めて少し幅は広がってしまうかもしれませんが、防災も含めた形で、高齢化の進行と支え合いの体制づくりがどうかと思っています。

以上です。

板倉委員長 では、反町さん。

反町委員 私は、この中では地域コミュニティというところが、これは中原区においては、とにかく繰り返し、繰り返し、継続的にやっていかなければいけないことだと思っています。

それ以外に、子育て、交通、ごみ、分野横断、その他ということでもいろいろ書いてありますが、地域コミュニティという考えをベースに、相当つなげて連携していける項目があると感じています。そうすると、まず地域コミュニティの重要さというのを共有して、それをベースにしていろんなことを、子育てもそうですし、防災とか、必ず大きな災害が来ると言われていますから本当に大切です。防災については過去に取り組んできている

ことでもあるので、それらを踏まえて、次のテーマとして具体的にどうしていくかというのを議論していけるといいのかなと思っています。

以上です。

板倉委員長 ありがとうございます。では、田中さん、お願いいたします。

田中委員 私は、自転車の利用環境の向上と交通安全対策についてお願いしたいと思っています。というのは、最近目につくのは、車道に自転車が走行するところのマークが入っていますが、各道路で標示が決まっていなんでしょうか。例えば府中県道と綱島街道の境へ出るまでは東横線のガードの下あたりからグリーンの山型のマークが地面に張ってあります。あの標示も、どことなく安全に走れないような気がするし、他区を見ますと、車、自転車が走る部分についてはグリーンベルトか何かで示されているので、何か統一されたものがあればなおさらいいのかなと思っています。

自転車のマナーについても、私は子どもの自転車に乗るマナーについて、警察でも学校に行って指導しているようすけれども、これは非常に変な話ですけれども、親が交通マナーを守らないで子どもに教えているような行動を見受けたことがあります。これも大人の教育といいましょうか、こういうことも何かの方法でやったらどうかと考えています。以前、親が女の子を1人載せて信号無視したから、次の後ろに行く子どもが、まだ小学生の低学年の女の子ですが、お母さんに注意したら、その子どもが私に、「いいの」と言ってそのまま行ってしまいました。「いい」ということは肯定しているわけなので、大人が、親が子どもに交通違反を教えているようなもので、非常に僕はそれは残念で今でも忘れられません。こういうこともありまして、この啓蒙運動について、どういう形で行うかはまた御指導いただければありがたいですが、子どもも当然ながら、大人がもう少し自転車のマナーについて考えていく。中原区でも、自転車に関する事故が30%あると言われておりますので、どうか次のテーマの検討について、お願い申し上げたいと思います。

ありがとうございます。

板倉委員長 ありがとうございます。では、塚本さん、お願いします。

塚本委員 テーマについては、各団体でいろんな取組をされていると思いますし、私の団体でもそれぞれテーマとしてやっているものもあるので、1回持ち帰らせていただいて、区全体として取り上げたほうがいいと思うものについてまとめて、また提案したいなと思います。

個人としては田中委員と同じで、中原区については、開発エリアで、ここ数年、入居以来ずっとベビーカーだらけ、ものすごい数のベビーカーがまちで見かけるわけですけれども、それが少したつと、最近私の住むマンションの駐輪場もそうですが、電動で前にも後ろにも乗せるタイプの自転車がずらっと並んでいます。さらに、これがもう少したつと、その子たちが1人で自転車に乗ってくる時代が来ると思います。まちのいろんな開発が進んで、道路事情も刻々と変わっている中でいうと、中原区は、坂の少ない平坦な地域

ですから、自転車問題についてはすごく長い歴史、努力を重ねていらっしやると思いますが、そういったこともまだ、いわゆる新たな住民の方たちは知らないわけですし、その意味でこのタイミングで自転車ということを取り上げていただくといいかないと個人的には思っています。

板倉委員長 ありがとうございます。自転車といっても、自転車をなくすというわけにはいかないわけですね。皆さん、荷物の輸送とか、お年寄りには1つの交通機関になってしまっていますし。その意味で、自転車と共生するまちづくり委員会という、自共生という活動の団体があることはあって、一応の活動はやっていますが、活動する人がどんどん減って、非常に少なくして今活動ができないという状況にもなっております。その辺を拡大していくというのも1つの手かと思えます。

では、仲亀さん、お願いいたします。

仲亀委員 私自身が後期高齢者になりましたので、後期高齢者のことでやはり一番気になることは、私が知っている80歳を過ぎた方のことですが、その方から、後期高齢者というのは障害者と一緒なのよと言われてました。ああ、そうかと初めて感じたわけですし、例えば歩道の段差があってそこにつまずいて転ぶとか、道の真ん中を歩きたいと。道路の真ん中は坂にもなっていないし、一番歩きやすいという意味だと思いますが、やはりそういう考えが出るということは、高齢者というのは平らなところを歩きたいと。私自身もそうでした、ちょっとした段差でも1センチぐらいの段差でもつまずくわけです。

私がちょうどお店に入ろうかなと思ったら、そのお店の反対側の道路にいらした方が、かなり高齢の方とお見受けしましたが、杖は持たず歩いていらして、ただ歩いていないのと同じような動きだったんです。そのときに、私はよほど手をお貸ししようかと思いましたが、自分自身が白杖を持っているのにとあって、申しわけなかったのですが、つい通り過ぎてしまったんです。本当に高齢者であっても、1人暮らしされている方というのはすごく多くて、やはり健常者といいますか、若い方たちがもう少し温かい心を持っていただきたいなというのを感じましたので、後期高齢者に対してというか、高齢者に対して歩きやすい道もそうなのですが、周りの温かいお心の方たちの手を差し伸べていただくということも必要なんじゃないかなと感じております。

以上です。

板倉委員長 ありがとうございます。長尾さん、お願いいたします。

長尾委員 資料を送っていただいて予習しましたときに、私としては、自転車だと思っていた。自転車は免許もないので、マナーのことも全然わからないし、ルールもわからないまま平気で乗っていらっしやる方々、自分も含めてたくさんいると思ひまして、勉強する機会が必要かなと思ひました。今ここで御意見を伺っていて、高齢者の方と子どもたちとの世代交流という御意見を聞きまして、それもすごく魅力的だと思ひ、心は揺れています。ちょっと考えはまとまりませんが。

板倉委員長 ありがとうございます。では、中森さん、お願いします。

中森委員 私は、反町さんが言ったように、地域コミュニティというのはすごく魅力的だなと思って、皆さんの意見を聞くと、これに当てはまるんじゃないかなと。子どもも含まれるし、高齢者の方も含まれるし、あと、自転車のマナーも何らかの形で取り入れられるんじゃないかなと思って、すごくいいテーマになるのではないかなと思って、反町さんには賛成しています。

以上です。

板倉委員長 では、仁上さん、お願いします。

仁上委員 何人かの方がお話しされましたけれども、自転車の運転マナー、それから駐輪マナー。以前の区民会議の題材にもなったと思いますけれども、そのときは違法駐輪というか、迷惑駐輪の改善ということで、成果があったと聞いております。最近でも駐輪場というのはあちこちに整備されていますが、ちょっと気がつくのは、商店街を歩行者と自転車に乗っている方が入り乱れて通行しているというのは、あれでよく接触事故が起きないなど。警察の話では結構事故が多いという話を聞いているので、例えば商店街の非常に混雑の時間帯は自転車は降りて通行してくださいというような条例みたいなものをつくってしまったらと、ふと考えたんですけれども、自転車に関する問題を取り上げてもおもしろいかなと思っております。

板倉委員長 それでは、萩原さん、お願いいたします。

萩原委員 おとといでしたか、中原区まちづくり推進委員会の3委員会の1年間の活動報告がありまして、その中でもやはり自転車の問題というのはとても大切なことだという指摘がございました。やっぱり20年構想委員会でも、区民祭のときもアンケートをとりますと、その中でも自転車のことを書いている方が大変多かったのも事実です。

中原区内の地域はとても平坦なので、とにかく自転車をお使いになるということで、先ほどの塚本さんの話にもありますように、間違いなくベビーカーから自転車に移行していくのは目に見えています。それで、3委員会の報告の中で指摘がありましたが、本当に長いことすごく人数の限られたメンバーで、格闘するように奮闘努力でやっているけれど、人数が多くいると少しでも成果が上がると。その場所が再開発地域になって、事実上自転車が置けなくなったところは大丈夫だけれども、今度は違うところにちゃっかり置いている。だから、武蔵小杉駅前でも、あるドラッグストアの前というのは全然歩けないぐらい、車が1台通れるか通れないかぐらいのところに、両脇に自転車が放置されてものすごいことになっています。ある量販店の前に放置されなくなったと思ったら、今度は違うところに置かれるようになるし、本当にイタチごっこというようなこともあります。

ただ、先ほど言われたように、自転車のない生活をしなさいというわけにはいかないので、どうやって共生するかというと、じゃ、代わりに自転車置場をつくったところが適切だったのかとか、少し駅周辺から遠いところだとやっぱり使われなかったのかとか、そう

いう見直しも含め、また、点字ブロックの上に放置自転車をどんどん置かれるということが、目の不自由な方だけじゃなくて、本当にいろんな方の障害にもなるということです。だから、そういう点では支え合うというものの中に自転車の問題も中原はとても大事なかなと思います。

ただ、高齢化は間違いなく進んでいますので、先日の区民会議交流会の際に市長がおっしゃった地域包括ケアですか、本当に支え合う仕組みづくりというのは、コミュニティを通して大事だと思いますので、区民会議ではそのテーマも大事なかなと思いますし、他方、具体的なものとして、自転車問題を取り上げてもいいかなと思っております。

以上です。

板倉委員長 それでは、松本さん。

松本委員 私は、高齢化の進行と支え合いの体制づくりです。確かに自転車の問題というのは、萩原委員と同じで非常に大切なことですが、1つ、中原区も今は若いですが、だんだん高齢化が進んできております。特にまた、唯一、中原区で山がある井田山を抱えているところは、もう40年、50年前に当時の若い世代だったときに、少し山のほうなら金額的にも多少安いからということで買われた方が、だんだん70代、80代になってきております。それで、高齢化が進んできているのを見越して、それぞれのところで行政と一緒に、例えばよりあい処というので、1年ぐらい前からやっております。

というのは、高齢化といっても、結局いこいの家とか、老人会に入れられない人たちをどのように支えていくかということが必要になってくると思います。各地区で、高齢の人がだんだん増加してきております。今朝も、よりあい処がありましたが、そこではどちらかというと健康で長生きするということが、例えば寝たきりにならない状態ですね。寝たきりになってしまうと入院するわけですが、病院のほうでも今は長く入院できない状況になっておりますので、それを支えていくのはどのようにしたらいいかということは、例えば今の高齢者が、70代後半から80代ができるちょっとした体を動かすことをコーヒーカフェという形で100円でやっています。

実際のところ、来ていただく方たちはそこに集まっていただいて、それでお話をする。健康的なお話をしながら、血圧測定をしたりして元気に——1つの場を与えるということです。お互いに話ができる高齢者の寺子屋みたいな感じでしょうか。また、先ほど来話がありますお子さんと一緒にという形をとると、元気が出る。やはり高齢者もだんだん児童に戻る、小学生に戻るといわれていますので、四季折々の七夕まつりがあったり、お雛祭りがあったりという形で様子を見て、それで1年間過ごせるというのがいいのではないかなと思ひまして、高齢化の問題、支え合いというのは急にはできませんので、そういった下地があって少しずつ年を重ねていくという形だと思います。

確かに自転車の問題について、中原区は平地ですので自転車が市内でも一番多いぐらいでしょうから、これは絶対的に必要です。萩原委員が言われたとおり、自転車と共生する

まちづくり委員会の報告会にもありましたが、共生というのはお互いに、自転車と共生しなければ、中原区は商店街にしても自転車じゃないと買物に来られない。自転車というのは、倒れて、転んで事故が起こると大変ですけれども、高齢者の1つの足なのです。これも、つながるところもあるかなと思いますので、高齢化の進行と支え合いの体制づくりというのを私はテーマに挙げていただいたらと思います。

以上です。

板倉委員長 ありがとうございます。それでは、山崎さん、お願いします。

山崎委員 今のテーマを決めるときも思ったんですけども、大きなテーマから入りますと、課題がこんなにたくさん出てくるというのを、今日の会議でも実感しているので、次回はむしろ少し具体的なテーマで絞り込んだ形の取組をしてもいいのかなと思っています。

ただ、地域コミュニティの問題はとても大事だと思いますが、今は転入者と今までいた方たちの交流みたいなものが目立っていますが、高齢者と子どもの交流もコミュニティの中では本当に大切ですし、まち全体としてバリアフリーになって、全ての方がうまく交流できるようなことを考えるのも大切だと思っています。私は、主に食を主体とした健康推進ということで、最初のテーマのときに出したら、どこにもつながっていないような表で出されていたので大変残念に思っていますけれども、松本さんがおっしゃったように、やはり健康であること、元気で暮らしていることというのは、コミュニティづくりにとっても大切なことだし、基本だと思っています。人づくりの基本だと思っていますので、絶対にこれからは必要なことだと思っています。

いくら若い人が入ってきていても、あと20年たったら高齢になってしまうわけですので、今から手を打たないことは絶対ないと思っていますので、テーマについて何にしようかというのは、今は少し決めて考えられませんが、地域コミュニティという意味ではこのテーマでぜひ考えていただきたいと思っています。

板倉委員長 ありがとうございます。成田副委員長、何かございますか。

成田副委員長 皆様、先ほどからいろいろ御意見を出されていますが、私の場合は、中原区の将来性を時間軸にとってみて考えたときに、地域コミュニティを支える担い手というのを発掘していく必要が早急にあるのではないかと思います。

というのは、私自身も子育て分野からこちらに出ていますが、今でこそ子育て支援のところに話がシフトしていますが、やはりこれも2030年で人口増が頭打ちということで、そこから先は逆に人口がどんどん高齢化していくということと、もう1つは、今年生まれた子どもでも15年たてば中学生になりますし、それから、中原区で子育てサロンが発足してから一番最初に来た赤ちゃんも、この2030年という時代には成人しています。そうした若者の地域参加というのを早急に考えていかないと、先ほど皆様がおっしゃった高齢者をどうやって支え合っていくか、それから、やっぱり若者が中原区というところを自分の生活

のホームグラウンドとして、自分のまちという認識をつくっていただくことが重要になってくるのではないかと考えています。

そういうことを考えると、いろいろな自転車のマナーもそうですが、やはり自分のまちの問題として捉えられていく若い世代と、今実際に進行中の課題を共有できるような世代間交流といったものも場所というのにも必要になってくるのではないかと考えていました。

以上です。

板倉委員長 橋本副委員長、何か。

橋本副委員長 いろいろな御意見をいただいたわけですが、私は、やはり世代間交流等についても、高齢者や子どもたちの支援などは別個の課題ではなくて結びつくのではないかと。子育てなどについては、高齢者の方は子育ての経験をしているので、その経験などを生かすような手法でやっていければと思っております。特に高齢者の問題についても、場の確保の問題だと思うんです。今、子どもの施設と高齢者の施設が別個になっていますが、それぞれの施設をお互いに利用できる形で、高齢者施設にも子どもたちに入ってきてもらう、子どもたちの施設にも高齢者に入ってもらって、交流を図るという形でやっていると、それぞれプラスの面が出てくるのではないかと考えています。

地域包括ケアの話も出ましたが、本当にこれは先の問題ではなくて、すぐ目の前の問題でもあるので、この辺についても行政だけに任せるのではなくて、地域ぐるみでやっていけない問題なので、特に区民会議でも取り上げて、どこまでできるかは別ですけども、そういった姿勢も必要になるのではないかと考えました。

板倉委員長 どうもありがとうございました。それでは、発言はここまでとさせていただきます。

今の皆さんの御意見は、次の運営部会、全体会議で審議いたしまして、まとめていきたいと思っております。

(4) 第5期中原区区民会議中間報告書について

板倉委員長 続いて、4つ目の課題に移りたいと思います。区民会議中間報告書の構成案についてということで、事務局からお願いします。

事務局 それでは、第5期中原区区民会議中間報告書構成案について御説明させていただきますので、資料5を御覧いただきたいと思います。

第5期の区民会議も約1年が経過し、1つ目のテーマについてもそろそろ取組提案までのとりまとめに入ろうとしております。その中で中間報告書を出していくということですが、これまでの中間報告書では、区民会議について設置根拠や体制等の説明から始まりまして、次に、審議の流れについての説明、各部会の紹介等、審議テーマや課題解決に向けた取組内容が報告書の後半に記載されておりましたが、審議内容や取組内容を把握するのに後半まで目を通さなければならないという課題もあったことから、今回の報告書

では、テーマやその選定過程、課題解決に向けた取組案を報告書の前半でお示しし、区民会議制度の内容、審議の流れ等につきましては、資料編で紹介したいと考えているところでございます。

なお、報告書の途中には、コラム記事といたしまして、きれいなまちづくりに関する区内の活動事例、また過去の区民会議における取組事例などを挿入してまいりたいと考えているところでございます。

説明は以上でございます。

板倉委員長 ありがとうございます。ただいまの御説明に御意見や御質問はございますか。よろしいですか。

(5) 平成27年度地域課題対応事業について

板倉委員長 それでは、平成27年度地域課題対応事業についてということで、事務局から説明をお願いします。

事務局 それでは、平成27年度地域課題対応事業予算について説明をさせていただきますので、お手元の資料6、平成27年度「中原区地域課題対応事業」計画一覧表をごらんいただきたいと思っております。

平成27年度の地域課題対応事業の説明につきましては、9つの中事業の主な事業について御説明させていただきます。各事業の詳細な説明につきましては、時間の都合上、省かせていただきますので御了承いただきたいと思います。

まず、中事業Ⅰ、安全・安心まちづくり事業は、区民の安全・安心な地域環境の確保に向けて、防犯・防災及び交通安全対策等の事業を実施するものでございまして、中原区安全・安心まちづくり推進事業、中原区ガイドマップ作成事業、地域防災力強化事業など7事業、合計850万4,000円を計上しているところでございます。

中事業Ⅱ、地域福祉・健康づくり事業は、区民がともに支え合い、健康で生き生きと暮らせる地域をつくるための事業を実施するものでございまして、橋わたしによる地域福祉の活性化事業、なかはら福祉健康まつり実施事業など3事業、合計220万7,000円を計上しております。

中事業Ⅲ、総合的な子ども支援事業は、地域の実情に合わせた総合的な子ども支援事業を実施するものでございまして、中原区子育てネットワーク事業、中原区子育て支援推進事業、中原区子育て情報発信事業、中原区子どもの発達支援事業等12事業、合計1,414万9,000円を計上しております。なお、表中11番目の事業につきましては今年度終了している事業でございますので、事業数としては12事業でございます。

中事業Ⅳ、環境まちづくり事業は、地域の自然を保全する活動や環境問題に関する事業を実施するものでございまして、区民の手で花いっぱい中原事業、環境まちづくり支援事業の2事業、合計286万7,000円を計上してございます。

次ページに参りまして、中事業Ⅴ、地域資源活用事業は、地域の歴史、文化、産業、自然、人材等を活用し、地域の魅力や個性を生かした事業を実施するものでございまして、中原区青少年吹奏楽コンサート事業、中原区役所コンサート開催事業、IN UNITY開催事業、親子サッカードリーム教室開催事業など11事業、合計で1,243万円を計上しているところでございます。

中事業Ⅵ、地域コミュニティ活性化推進事業は、町内会・自治会や市民活動団体等と連携し、地域コミュニティを活性化するための事業を実施するものでございまして、まちづくり推進実践活動事業、市民活動活性化事業、小杉駅周辺の新たな魅力づくり推進事業など8事業、合計で2,042万7,000円を計上してございます。

中事業Ⅶ、区役所サービス向上事業は、区役所サービスを効率的、効果的、総合的に市民に提供するため、区役所サービス向上指針及び区役所サービス取組方針等に基づき事業を実施するものでございまして、2事業、予算354万4,000円を計上してございます。

中事業Ⅷ、区の新たな課題即応事業は、市民にとって身近な区役所が、新たな課題や緊急対応が必要な課題に適切かつ速やかに対応するための事業予算でございまして、各区一律500万円を計上しているところでございます。

中事業Ⅸ、地域課題対応その他事業は、地域の課題に対して市民及び団体が行政と協働により解決を図るための事業及び一般事務経費などの予算でございまして、485万4,000円を計上してございます。

以上9つの中事業、合計48事業、予算総額7,398万2,000円となっております。

以上で、地域課題対応事業の御説明を終わらせていただきます。

板倉委員長 ありがとうございます。ただいまの御説明に御質問等はございますか。

塚本委員 認識が違っていたら教えていただきたいですけれども、小杉駅周辺の新たな魅力づくり推進事業ですが、今まで地域振興課だったような気がしますけれども、これは企画課に変わるということでしょうか。それとも違う会議ですか。

事務局 これは、予算所管課が企画課になっておりますけれども、実施については地域振興課と企画課でございます。

塚本委員 2つで。では、変わらないと。

事務局 はい。従来と変わってございません。記載は予算所管課として企画課になっておりますが、事業所管課には地域振興課を加えていただければと思います。

塚本委員 分かりました。

4 その他

板倉委員長 それでは、その他、事務局から何か連絡事項はありますか。

事務局 それでは、本日参考資料の3と4につきまして、時間も超過しておりますので、簡単に御説明だけさせていただきたいと思っております。

まず、参考資料3、「なかはら区民会議だより」のNo.24では、本日も幾度かお話の中で出てまいりました落書き消しについて、皆様に活動していただいた内容を御紹介する紙面になっております。

また、中面の内容は、本日御審議いただきましたきれいなまちづくり活動ということで、今までの審議事項が載っている形になっております。これは皆様のところにもお届けしているかと思えますけれども、3月31日付で「区民会議だより」をこれから発行するため御紹介させていただきました。

次の参考資料4ですが、先日行われました区民会議交流会、各区の区民会議委員に集まっていたいただいて交流を深めていただく場でもございましたけれども、こちらの報告書が、まだ暫定版ではございますが、内容についてはほぼ固まっておりますので、今日この場で御紹介させていただきます。

1ページに目次がございまして、先ほども幾つかお話が出ていました市長による講演につきましても、4ページ以降、詳細に掲載されていまして、皆様に参加していただいた7区の区民会議委員が交わっての意見交換ということで、「幅広い世代が区民会議に関わってもらうには」というテーマで話し合っていた内容についてまとめているのが、10ページ以降でございます。

また、18ページ以降につきましては、皆様にお答えいただきましたアンケートの結果が掲載されておりまして、区民会議交流会についての御意見もございまして、また区民会議そのものの活性化に向けて、どういった改善が必要かということについても御意見を伺っておりますので、それらの内容についても触れさせていただいている資料でございます。なお、当日配付資料については、今回分量の関係で割愛をさせていただいております。

資料の説明は以上でございます。

板倉委員長 ありがとうございます。何か御質問はございますか。

それでは、以上で本日予定しておりました議事は全て終了いたしました。

ここで、区民会議参与の皆様一言ずついただければと思っております。よろしく願いします。

東参与 貴重なお時間をいただきました。過去、議会の中でも、この区民会議の存在というか、あり方が議論された経過がございますけれども、この中原区民会議においてはそんな心配は全然ない。今日も少し出てまいりましたけれども、本当に真剣に、中原区民の安全・安心と同時に、この中原で生まれ育ってよかった、あるいは住んでよかったというような思いを全ての区民の方々に提供していただける、そういう点で非常にすばらしい区民会議だということを改めて認識いたしました。

今、新しい総合計画を市長がおつくりになっております。今年中に全体がまとまって、恐らく来年以降、総合計画のもとで事業が展開されるだろうと思えます。そういう点ですますの中原区民会議の御発展をお祈りしたいと思います。と申しますのは、私、16年間

の議員活動にピリオドを打つことになりました。本当に長い間、ありがとうございました。

最後に、区民会議のますますの御発展と、区民会議委員の皆様の御健勝、御多幸をお祈り申し上げます。本日は本当にありがとうございました。

板倉委員長 ありがとうございました。それでは、松川参与、お願いします。

松川参与 その他の参与の皆さんが出席されていましたが都合により退席いたしまして、何だか挨拶させていただくのが大変恐縮でありますけれども、一言だけお話をさせていただきたいと思います。

まず、落書きを消される活動や、またきれいなまちづくりというような活動を拝見いたしまして、頭にぴんときたのは、ニューヨーク市と同じだなと思っております。ニューヨーク市は犯罪が多い市でありましたけれども、割れ窓理論、ブローケン・ウインドウズ理論と言いますけれども、地下鉄の割れた窓ですとか、落書きを消すことによって、犯罪というのを抑止していく、防犯につなげていくというようなまちづくりを進めた市でもございます。そんな中で、この期だけではなく、継続的にそういうまちづくりを各団体、また一市民、区民の皆さんを巻き込みながら進めていただければと思っているところでございます。

また、新規の課題でございますけれども、自転車に関しましては、ちょうど議会中に区長からも答弁いただきまして、今年から交通安全教室を拡充するようになったと聞いております。例えば、子どもたちの目の前で自転車に乗っているスタントマンが車に本当にひかれてしまうという交通安全の指導、スケアードストレート方式と言いますけれども、そのような内容を盛り込んだ交通安全教室を、今までは中高校生向けだけだったところ、小学校にまでこれを拡大して、来年度、平成27年度から行っていくということが取り組まれているとのことでございますので、御報告させていただきたいと思っております。

最後に、橋本副委員長がおっしゃられた点でございますけれども、高齢者と子どもの関わり方というのは、川崎市は大変に遅れていると言っても過言ではないと思います。隣の横浜市になっていきますと、そういう施設がちゃんとございます。高齢者、いこいの家であったり、こども文化センターであったり、そしてまた町会が使えるりというような複合的な施設のハード面というのが整備されておりますので、ハード面はなかなか難しいにせよ、ソフト面の中でも、この区民会議の中で皆さんと議論していただきまして、そういう仕組みづくりができたらなと思っておりますので、また勉強させていただきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。ありがとうございました。

板倉委員長 ありがとうございました。ただいまの御意見につきましては、今後の区民会議運営の参考にさせていただきたいと思っております。

事務局から、最後に何かございますか。

事務局 それでは、次回、第5回区民会議についてでございますけれども、資料4のスケ

ジュールがまだお手元に御用意ございましたら御確認いただければと思います。第5回区民会議につきましては、新年度を迎えて、6月30日（火）、7月1日（水）、7月2日（木）、7月3日（金）を予定日としております。なお、7月2日につきましては、会場の都合で午前中か、午後であれば13時から15時までという時間設定を予定しております。また、日程調整は後日させていただきますので、よろしくお願いいたします。

以上でございます。

5 閉会

板倉委員長 ありがとうございます。皆様に御協力いただきまして、円滑な議事を進めることができました。副委員長ともども深く感謝申し上げます。

以上をもちまして、第4回中原区民会議を閉会といたします。お疲れさまでした。

午後4時13分 閉 会